



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 明治機械株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6334 URL <https://www.meiji-kikai.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日根 年治  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 高工 弘 TEL 03-5295-3511  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,085	△34.5	52	△64.4	71	△61.5	96	△94.1
2023年3月期第3四半期	4,707	△7.4	147	-	185	-	1,631	735.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △277百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 1,679百万円 (612.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	8.53	-
2023年3月期第3四半期	143.30	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,124	3,047	49.8
2023年3月期	7,236	3,425	47.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,047百万円 2023年3月期 3,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	2.00	2.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	△25.5	220	16.9	240	3.7	270	△84.7	24.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	11,402,636株	2023年3月期	11,402,636株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	215,928株	2023年3月期	14,218株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	11,292,065株	2023年3月期3Q	11,388,420株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和やインバウンド需要の回復により緩やかな回復基調がみられました。一方、円安による輸入物価の値上がりを受けた個人消費の足踏み状態や世界的な金融引き締め動きにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。このような状況のもと、当社グループにおいては、収益基盤の確立・向上や成長事業領域の探求、参入の検討等を継続的に行ってまいりました。

プラント工事については、一定の期間にわたり収益を認識する中小型工事案件が本格的に収益に寄与してきており、また来年度以降の受注残高積み増しに向け、顧客設備投資動向の悉皆的なヒアリング・提案等を進めてまいりました。更には、年度内完工予定の各種工事案件を順調に進める一方、主力の飼料・製粉メーカー等における来年度以降の設備投資動向の情報収集を悉皆的に進め、見積り提案等を進めております。

産業機械製造分野については、食関連企業向けのロールや様々な業界で省力化・省人化としてニーズのある自動開袋機等の受注強化を進めております。一方、製造現場における稼働率向上に向けた各種取り組み効果が定量面で顕在化してきております。

また、顧客ポートフォリオや収益機会の多様化・分散を進めるべく、食関連ソリューション部門の新設・マーケティングの本格的な始動、新規事業への参入検討、海外戦略再構築等に取り組んでまいりました。

更には、解凍機、衛生関連製品等のプロダクツ販売強化に向けた組織再編を行い、従来の主要取引先に留まらず広範な食関連顧客への各種ソリューション営業を強化しております。

資本業務提携契約を締結しておりますAbalance株式会社とは、光触媒製品の連携営業を進め、主力取引先向けに抗菌対策として同製品を納入する等、着実にシナジー効果を発現させてきております。

こうした状況下、当社グループの連結売上高は3,085百万円（前年同四半期は4,707百万円）と低調でありました。また、損益面に関しましては、営業利益52百万円（前年同四半期は147百万円の営業利益）、経常利益71百万円（前年同四半期は185百万円の経常利益）となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は、特別利益、法人税等を加減算しまして、96百万円（前年同四半期は1,631百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなったことから、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、6,124百万円（前連結会計年度末は総資産7,236百万円）と前連結会計年度末より1,111百万円の減少となりました。これは主に仕掛品184百万円、建物及び構築物435百万円の増加があったことに対し、現金及び預金973百万円、受取手形、売掛金及び契約資産238百万円、投資有価証券665百万円等の減少があったことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、3,077百万円（前連結会計年度末は負債3,810百万円）と前連結会計年度末より733百万円の減少となりました。これは主に、電子記録債務123百万円、短期借入金85百万円、前受金86百万円、長期借入金106百万円、繰延税金負債221百万円等の減少があったことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,047百万円（前連結会計年度末は純資産3,425百万円）と前連結会計年度末より378百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金73百万円、為替換算調整勘定44百万円の増加があったことに対し、自己株式の取得77百万円、その他有価証券評価差額金418百万円等の減少があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績修正を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細については、本日（2024年2月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2024年3月期の配当につきましては、配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,425,601	1,452,590
受取手形、売掛金及び契約資産	1,705,701	1,467,173
商品及び製品	133,382	112,401
仕掛品	515,429	699,479
原材料及び貯蔵品	72,058	74,135
前払費用	22,788	17,172
前渡金	4,961	79,722
その他	18,254	78,454
貸倒引当金	△1,705	△1,476
流動資産合計	4,896,473	3,979,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	259,638	695,485
機械装置及び運搬具（純額）	248,974	235,041
土地	164,079	171,622
リース資産（純額）	2,622	4,411
その他（純額）	246,523	87,828
有形固定資産合計	921,838	1,194,389
無形固定資産		
その他	97,627	92,519
無形固定資産合計	97,627	92,519
投資その他の資産		
投資有価証券	1,186,195	520,838
長期未収入金	319,558	167,391
その他	133,926	336,730
貸倒引当金	△319,558	△167,391
投資その他の資産合計	1,320,121	857,569
固定資産合計	2,339,587	2,144,477
資産合計	7,236,060	6,124,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	403,550	370,785
電子記録債務	551,269	428,020
短期借入金	1,082,368	996,536
リース債務	2,162	1,536
未払法人税等	15,050	8,301
未払費用	21,672	46,990
前受金	291,520	205,464
賞与引当金	51,162	28,719
工事損失引当金	57	7,483
その他	119,875	49,170
流動負債合計	2,538,689	2,143,007
固定負債		
長期借入金	766,444	659,645
リース債務	613	3,122
繰延税金負債	296,030	74,711
退職給付に係る負債	189,277	176,701
資産除去債務	12,588	12,588
その他	7,335	7,335
固定負債合計	1,272,287	934,104
負債合計	3,810,977	3,077,112
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	774,629	774,629
利益剰余金	1,860,556	1,934,050
自己株式	△8,947	△86,621
株主資本合計	2,726,238	2,722,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	559,795	141,280
為替換算調整勘定	139,048	183,678
その他の包括利益累計額合計	698,844	324,959
純資産合計	3,425,083	3,047,018
負債純資産合計	7,236,060	6,124,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,707,627	3,085,376
売上原価	4,182,415	2,562,370
売上総利益	525,212	523,005
販売費及び一般管理費	378,087	470,607
営業利益	147,125	52,398
営業外収益		
受取利息	5,118	11,502
受取配当金	10,882	3,008
社宅使用料	5,822	5,370
雑収入	18,440	—
その他	10,701	11,683
営業外収益合計	50,965	31,565
営業外費用		
支払利息	9,993	8,501
本社移転費用	—	3,288
雑損失	2,810	812
営業外費用合計	12,803	12,603
経常利益	185,286	71,361
特別利益		
固定資産売却益	1,421,545	3,389
投資有価証券売却益	82,941	25,671
工事負担金返金額	—	51,062
特別利益合計	1,504,487	80,123
特別損失		
固定資産売却損	3,272	148
固定資産除却損	5,641	45,774
投資有価証券売却損	38,378	—
特別損失合計	47,292	45,923
税金等調整前四半期純利益	1,642,481	105,561
法人税、住民税及び事業税	10,495	9,290
法人税等合計	10,495	9,290
四半期純利益	1,631,985	96,271
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,631,985	96,271

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,631,985	96,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,651	△418,514
為替換算調整勘定	64,499	44,630
その他の包括利益合計	47,847	△373,884
四半期包括利益	1,679,833	△277,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,679,833	△277,613
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

自己株式の取得

当社は、2023年7月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、取得株式数340,000株、総額100百万円を上限として2023年7月19日から2024年3月29日の期間で自己株式の取得を進めています。

当第2四半期連結累計期間において、以下のとおり自己株式を取得しました。

- |         |                               |
|---------|-------------------------------|
| ① 買付期間  | 2023年7月19日～2023年12月29日（約定ベース） |
| ② 買付株式数 | 201,700株                      |
| ③ 買付総額  | 77,670,800円                   |
| ④ 買付方法  | 東京証券取引所における市場買付               |

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

「II 当第3四半期連結累計期間（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

当社は「産業機械関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する情報)

当社は従来、「産業機械関連事業」と「不動産関連事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「産業機械関連事業」の単一セグメントに変更しております。この変更は、前連結会計年度において、当社が保有していた賃貸用不動産物件の大部分を売却したことにより、不動産関連事業の重要性が乏しくなったことから、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したためであります。この変更により、「産業機械関連事業」の単一セグメントとなることから、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(Abalance株式会社との相互資金供給枠の設定)

当社は、2024年1月25日開催の取締役会において、資本業務提携契約を締結しておりますAbalance株式会社（以下、「Abalance」といいます。）との間で一時的な余剰資金を供給し合う資金供給枠を相互に設定することを決議いたしました。

1. 本資金供給枠の設定理由

当社とAbalanceのキャッシュフローの特性を踏まえ、財務・資金戦略分野における協働・連携の可能性を継続的に検討してきましたところ、一時的に生じる余剰資金を互いに供給し合うことが両社の中長期的な成長や効率的かつ柔軟な財務運営、更には2社のパートナー関係の強化・発展に資すると判断し、2社間で相互に資金供給枠を設定することにいたしました。

当社とAbalanceは、今後も協働・連携を深化させ、シナジー効果を加速・増大させ、両社の中長期的な企業価値向上につなげてまいります。

2. 当社がAbalance向けに設定する資金供給枠について

資金供給枠	8億円
資金使途	事業性資金
期間	1年以内
金利	市場実績並みの水準

3. 業績への影響

本件が当社の当期の連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。